

MIRAI+導入によるCO₂排出量削減効果（2025年度）

■ 削減量の概要

MIRAI+の導入により、2025年度（2025年4月～2026年3月）において27.41t-CO₂の排出量削減効果を算出しました。

（参考：2024年度実績 17.6 t-CO₂）

■ 27.41t-CO₂削減のイメージ換算

- ◇ 自動車走行距離：地球約5周分
 - ・検証：210,846km ÷ 40,075km → 5.26周分
- ◇ 家庭の電気使用量：11世帯の1年分
 - ・検証：27.41t-CO₂ ÷ 2.48t-CO₂/世帯 → 11.05世帯分

■ 算出方法

① 算出対象範囲

- ・Scope 3 カテゴリ 1（製品・サービス）：健診の準備物と結果票等の「紙」の原材料調達
- ・Scope 3 カテゴリ 4（輸送）：健診の準備物と結果票の「配送」工程
- ・Scope 3 カテゴリ 11（製品の使用）：Web結果閲覧時の「スマートフォン電力消費」

② 具体的な算出口ジック

項目	従来スタイル（紙）	MIRAI+（Web）
紙の消費量	1名あたり 57g	1名あたり 27g
輸送手段	宅配便による個別/一括配送	なし（Webアップロード）
電力負荷	なし	1名あたり約20分の閲覧負荷

③ 使用したデータソース（排出係数）

- ・紙の排出原単位：1.47 g-CO₂/g（日本製紙連合会・LCA小委員会公表データ）
- ・輸送の排出原単位：1,250 g-CO₂/個（佐川急便「飛脚宅配便」公開データ）
- ・電力の排出係数：0.000299 t-CO₂/kWh（環境省・経済産業省公表データ）

比喩対象	算出に用いた数値（2024-2025年最新基準）	出典・ソース
自動車	130g-CO ₂ / km（ガソリン車・平均値）	国土交通省・自動車の燃費性能ガイド
家庭（電気）	2,480kg-CO ₂ / 世帯・年	環境省・家庭部門のCO ₂ 排出実態統計調査
地球1周	40,075 km	国土地理院

※これまで、日本郵政が公開している郵便1通あたりのCO₂で暫定算出していたが、2025年度より現状に即して飛脚宅配便1個あたりのCO₂排出量のデータをもとに削減量を算出

④ 今後の課題と展望

今回の算出において、受診前の事前準備物（尿容器等）の輸送に伴うCO₂排出量は含まれておりません。KKCではこの工程における環境負荷低減を次なる課題と捉え、資材送付を最小限に抑える新しい健診スタイルの構築に向けた検討を継続してまいります。